

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第6回武蔵村山市介護保険運営協議会
開 催 日 時	平成27年1月9日（金） 午後7時00分 ～9時00分
開 催 場 所	市民総合センター3階 小会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：田中（由）委員、安島委員、日高委員、加園委員、藤田委員、栗原委員、山岸委員、石川委員、後藤委員、庄司委員 高齡・障害担当部長、高齡福祉課長、管理グループ主査、高齡福祉グループ主査、管理グループ主任 日本コンサルタントグループ研究員 欠席者：1名 田中（富）委員 傍聴者：1名
議 題	報告事項1：平成26年度第5回介護保険運営協議会会議結果について 報告事項2：パブリックコメント及び市民説明会の実施経過について 協議事項1 答申案について 協議事項2 その他（事務連絡）
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）	開会 会 長：第6回協議会を始める。1名の傍聴者がいる。委員は1名欠席で、定足数に達しているので会議を行う。事務局より報告をお願いする。 【報告事項1 平成26年度第5回介護保険運営協議会会議結果について】 事務局：概要を説明 【報告事項2 パブリックコメント及び市民説明会の実施経過について】 事務局：概要を説明（パブリックコメント：意見提出3件、市民説明会出席者：12月11日1人、12月17日4人、12月15日4人、12月16日0人 会 長：事務局説明について質問をお願いします。 委 員：市民総合センター説明会に参加した。来る人には、運協の委員がどのような立場なのかがわからない。運協に市民が参加し、計画を協議していることを紹介してもらいたい。 会 長：パブコメへの回答は、そうするのか。 事務局：全部を反映できるとは限らないが意見に対しどのように計画に反映したかを公表する。 会 長：国の制度改正に関することが多いが、公表をお願いします。 【協議事項1 答申案について】 事務局：概要を説明 会 長：事務局説明について質問・意見をお願いします。人口推計について市の人口フレームでは多すぎるとの議論があったが、長期総合計画に合わせるべきと決定された。ただし、給付費等の推計については、もとの人口推計をつかっている。保険料は、保険料率の軽減を

図る方向で試算していたが、消費税延期に伴い、軽減する前の料率で示している。いずれ消費税増額に伴い料率が下がるが、現在のところ第1段階は0.45としている。保険料は4%増の4,731円を見込んでいる。

委員：総合計画の人口フレームを基本とすることは分かるが、現状では減少傾向にあるのにずいぶん増加する推計をしている。

会長：サービス量等の推計は現実的推計に基づくが、協議会としては疑問視しながら議論したことを留意して頂きたい。

事務局：総合計画の人口フレームは、努力目標を加味し設定する必要があるが、本計画では実態にあった見込み量を出している。

委員：運営協議会として、協議したことを記録に留めておいてほしい。

委員：16Pの人材確保について、都と連携し取り組むとあるが、以前実施していた介護保険初任者研修はどうするのか。

事務局：64Pに研修の実施方法の見直しを掲載している。以前の方法で実施ということではなく、特養にお願いするなどの何らかの方法で人材確保を進める。

委員：地域支援事業に予防給付が移行するなどもあり、人材確保の一層の取り組みをお願いする。

委員：11Pの高齢者の推移の中で、高齢化率が22.8%とあるが、高齢者数の推計では23.6%と一致していない。1月と10月時点の差ということか。

事務局：わかるように修正する。

会長：今までの議論を概観して、計画内容はどうか。

委員：介護予防サービス給付費が減少すると示しているが、総合事業の影響か。地域支援事業を7%程度としているが継続的な枠組みか。

事務局：現在のところは雲をつかむような状況ではあるが、そう見込んだ。

委員：以前は5%だったが、7%程度としたことは良いと考える。

委員：武蔵村山市は介護報酬の地域区分の単価が低いが、今回上がるのか。

事務局：他市に比べ低いので、経過措置として5%にしているが、国は3%と考えているらしい。それでは困ると要請しているが、最終的には不明。

委員：平成24年度からは3%ということであったが、事業者には厳しく、暫定5%となっているが、多摩地域では3市だけが3%。青梅市・檜原村は10%である。地域区分のため低すぎ事業者の参入が阻害されるため、上がることを望む。

事務局：国施設があるところは調べている。次回、東大和市は12%となると聞いているが、武蔵村山には国機関があるため変化なしと聞いている。ただし地域区分が高すぎると保険料が上昇してしまうので低くしてという市町村もある。

会長：国の割り当てでだいぶ変わるが、努力するしかない。施策の展開において、継続や充実する施策が多い。充実という表現は抽象的であり、どう実践されるのかは後に委ねることとなる。今回は先が見ない中での計画策定であるが、保健・医療・介護の組織統合を図ること、横のつながりがなければ、サービス全体をうまく運用することが困難となる。市組織の横のつながりの強化を検討頂きたい。

【協議事項2 その他】

事務局：今回で運営協議会は最終の会議となる。今後、運営協議会から答

	<p>申を頂く。その後、2月10日に議会の全員協議会で説明。今までの意見を反映し、庁内決済を受け、計画を決定する。</p> <p>事務局：答申は1月21日。</p> <p>会長：全て終了。本協議会も最後となる。印象としては雨の多い日々であったが、欠席も少なく感謝する</p>
--	---

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 () </p>	<p>傍聴者： _____ 3人</p>
-------------------------	--	----------------------

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：) </p>
--------------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部高齢福祉課 (内線：632)</p>
--------------	----------------------------

(日本工業規格A列4番)